

OECD 開発センター運営委員会・第三回ハイレベル会合コミュニケ(概要)

1. 中国とフランスの共同議長の下、セネガルの首脳を含むハイレベルな出席者が中期の戦略的方向性を議論。
2. 前回 2014 年のハイレベル会合以降の成果として、開発センターの活動の拡大、分担金改革、日本の復帰を含む加盟国の増加などの達成を歓迎。
3. 加盟国が増加していることは、先進国と途上国が対等な立場で分析及び政策対話を行うプラットフォームとしての開発センターの重要性が増していることを表しているもの。今後引き続き、途上国及び OECD 加盟国を含む各国からの更なる加盟を期待。
4. 移民と開発などの台頭するグローバルな潮流について議論。最新のアフリカ経済アウトLOOKを歓迎し、アフリカの構造改革の展望を議論。SDGs の実施について、多面的国別レビューの貢献を含め議論。次期二カ年の開発センターの業務の優先分野の特定と戦略的方向性の付与を実施。
5. 富のシフトは新たな段階に入っており、先進国及び途上国双方に課題と機会を提示。構造改革や市民の幸福を増進する開発戦略の立案はより複雑化。
6. 開発センターは、加盟国が、新たなグローバルな課題を特定・分析し、地域間及び地域内の協力を推進し、SDGs を実施するための国家戦略及び政策策定に資する診断ツールを強化し、またステークホルダーとの対話及び協力を行う能力を向上することを引き続き支援すべき。
7. SDGs の達成や開発成果の向上において開発センターが果たし得る役割を再認識。開発センターは SDGs に関する OECD 行動計画のビジョンに貢献するものであり、開発と SDGs に関するコミュニケーションの促進等を通じ、この取組に積極的に貢献していくことを要請。
8. 開発センターがアフリカ関連の活動を深め、南東欧や中央アジア等に関与する機会を追求することを要請。ラテンアメリカ・カリブ地域プログラムの立上げを歓迎。東南アジア地域プログラムへの関与拡大を再確認。
9. 以下について合意。
 - (1) 移民と開発に関する対話の開始
 - (2) アフリカ連合アジェンダ 2063 を推進するためのアフリカイニシアティブの策定
 - (3) 多面的国別レビューに関する理解の促進、相互学習グループの立ち上げ、SDGs により整合させるための専門家グループの設置
 - (4) 東南アジア地域プログラム及びラテンアメリカ・カリブ地域プログラムへの関与の拡大
 - (5) OECD 開発クラスターとの連携の強化
 - (6) 非政府ステークホルダー（民間セクター、財団、市民社会、シンクタンク）との関与の強化
 - (7) メンバーシップ戦略の改訂

(了)